

【目 標】

◆「家庭分野の目標」

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成することを旨とする。

【3年間の学習内容】

「家庭分野」

A 家族・家庭生活

B 衣食住の生活

C 消費生活・環境

【評価の観点・方法】

(1) 「知識・技能」

実践的・体験的学習活動を通して、基本的な知識を身につけているか、生活との関わりを理解できているか、定期テスト、レポート、実習や作品などで評価します。

(2) 「思考力・判断力・表現力等」

設計や製作活動における既得の知識・技術の活用状況や生活を工夫したり創造したりする能力を実習作品、レポート、定期テストなどで評価します。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」

単にノート提出や授業態度といった情動的側面や知識・記憶を問うものではなく、製作実習やプレゼンテーションなどへの知識・表現力・思考力等の応用や作品形状や方法の改善、実際の場面での課題解決の力について毎時間の学習の取り組み状況、実習課題、レポートなどで評価します。

※ 通知表の評定について

上記の3観点における到達度の合計により、総合的な到達度として各学期と学年末に5段階評定を行います。各観点の比重は均等とし、その到達度は通知表にABCで記載されます。

観点別評価ABCの定義

- A 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- B 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- C 「努力を要する」状況と判断されるもの

- 5 「十分満足できる」状況と判断されるもののうち特に程度の高いもの
- 4 「十分満足できる」状況と判断されるもの
- 3 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
- 2 「努力を要する」状況と判断されるもの
- 1 「努力を要する」状況と判断されるもののうち一層努力を要するもの

家庭分野 第3学年 指導・評価計画

	学習指導要領の項目	学習活動	評価項目
1 学 期	C 消費生活・環境		
	(1)金銭の管理と購入		
	ア 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。	ワークシート ノート	知・思
	イ 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。	ワークシート ノート	知・思
	ウ 物資・サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫すること。	ワークシート ノート	思・学
	(2)消費者の権利と責任		
ア 消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解すること。	ワークシート ノート	知・思	
イ 身近な消費生活について、自立した消費者としての責任ある消費行動を考え、工夫すること。	ワークシート ノート	思・学	
		期末考査	知・思・学
2 学 期	A 家族・家庭生活	夏休みの課題	思・学
	(1) 幼児の生活と家族		
	ア 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子供が育つ環境としての家族の役割について理解すること。	ワークシート ノート	知・思
	イ 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解すること。	ワークシート ノート	知・思
	ウ 幼児とのよりよい関わり方について考え、工夫すること。	玩具製作 ワークシート ノート	知・思・学 思・学
	(2)自分の成長と家族・家庭生活		
ア 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解するとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気付くこと。	ワークシート ノート	知・思	
		期末考査	知・思・学

3 学 期	<p><u>(3)家族・家庭や地域との関わり</u></p> <p>ア 家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解すること。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ノート</p>	<p>知・思</p>
	<p>イ 家庭生活は地域との相互の関わりで成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解すること。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ノート</p>	<p>知・思</p>
	<p>ウ 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり、協働する方法について考え、工夫すること。</p>	<p>ワークシート</p> <p>ノート</p> <p>期末考査</p>	<p>知・思・学</p> <p>知・思・学</p>

